

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム貝津

目標達成計画

作成日: 令和4年11月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	担当職員によってモニタリングを実施し、介護計画案を行っているが、全職員に共通した知識等が必要である。以降を取り組みより良い介護計画作成への意識付けを行いたい。	職員全員で介護計画を作成し、介護計画を意識したケアが行える。また、ご家族の意向も話し合い場で思いを引き出せるよう努める。	必要な知識を得るため勉強会を実施し、職員間で意見交換を行う。担当職員以外も入り、個別カンファレンスを行う中で介護計画を作成する。ご家族ができるだけ参加できる形で担当者会議を実施し、話しやすい雰囲気を作りを行う。	12ヶ月
2	40	介護度が高い利用者が多く、刻み食準備や食事介助に手を取られ、他の利用者との食事の際に関わりを持つことが難しくなってきた。	入居者全員で楽しく食事をしたい。	食事前にメニューを読み上げ、刻み食の利用尾者にも献立を理解してもらい、嚥下機能を上げるために口腔体操を行う。全員で元気よく「いただきます」を言い、食事に対する意欲を高め、美味しく食べて頂けるよう雰囲気作りを行う。	3ヶ月
3	35	災害時BCP(業務継続計画)の作成ができていない。	BCP(業務継続計画)の作成に着手する。	オンラインでの研修や法人内の各部署の情報を収集し期日までにBCPを作成し、職員全員に内容の周知を図る。	6ヶ月
4	11	ハラスメントの勉強会が実施できていない。	ハラスメント対策の強化を行う事により、より働きやすい職場作りを目指す。	オンラインで研修を活用し、知識を深める。また、各勉強会を年間で計画している為、ハラスメントに関する勉強会を年に1回行い、職員全員に周知を図る。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。